

「リユース市 2008」報告書

例年、新歓期（3月下旬～4月上旬）に学内サークル「環境三四郎」が東京大学駒場キャンパス内で開催させていただいております「リユース市」を今年度も開催いたしました。以下をその報告書として提出いたします。

記

1. 「リユース市」実施概要

1-1 「リユース市」企画概要

リユース市は、駒場キャンパス付近に住む住民の方や学生から使われなくなった家具・家電製品を無料で引き取り、新入生に安価で提供するという企画である。

地方から出てくる学生にとって家具・家電の購入は大きな負担となる一方で、駒場から本郷に進学する学生や大学を卒業する学生からは転居の際に使われなくなった家具・家電が発生する。この現状に着目し、学内で「リユース」を行う啓蒙効果を期待して「リユース市」を開催している。

2003年度より、新歓期に金銭取引を行うことからオリエンテーション委員会主催での開催となっていたが、「リユース市」を3月の下旬に開催するために2007年度からオリエンテーション委員会ではなく環境三四郎主催での開催となっている。

1-2 「リユース市」日程

1月上旬	「リユース市」運営引継ぎ
1月下旬	「リユース市」開催・物品回収告知、物品回収受付開始
3/15,22,23(計3日間)	物品回収
3/26,4/2,3(計3日間)	「リユース市」開催
4/7,8(計2日間)	物品配送

1-3 開催日時・開催場所

日時：2007年3月26日 4月2、3日 10時～17時

場所：東大駒場キャンパス12・13号館前広場

1-4 回収物品

家具（タンス・棚・ベッド・机など）
家電（冷蔵庫・テレビ・電子レンジなど）
その他（傘、突っ張り棒など）

1-5 広報

ポスター

駒場キャンパス、本郷キャンパス、駒場キャンパス周辺にポスターを掲示し、リユース市の開催と、それに先立っての物品提供の協力を呼びかけた。

以下に掲示した枚数を示す。

掲示場所	枚数
駒場キャンパス	9枚
本郷キャンパス	10枚
駒場キャンパス周辺	13枚

立て看板

90×180cm のベニヤ板 1 枚を看板面として使用した立て看板により、2008 年 1 月 24 日から 3 月 25 日まで物品提供の協力の呼びかけと開催告知を行った。
途中 3 月 26 日に物品提供呼びかけの看板から新入生向けに開催告知の看板に張り替えた。

ビラ

4/10,22 の東大入試の前期および後期合格発表の日に本郷キャンパスにて新歓のビラを配布する際、リユース市のビラも同時に渡して新入生にリユース市を広報した。
東大生協の協力で、「住まいの相談会」の会場にリユース市のビラを置かせていただいた。
4/2,3 の開催当日、諸手続きを終えて帰る新入生に対して、ビラの配布を行い、リユース市を広報した。この際、学生支援課から借りたメガホンにて声かけを行った。この際は、リユース市の宣伝が新歓活動とにならないよう注意を払った。

ウェブ

2/27 に環境三四郎のウェブページに専用のサイト(<http://www.sanshiro.ne.jp/reuse/>)を設けて物品提供の呼びかけや開催日時等詳細の告知を行った。

1-6 物品回収の流れ

① 受付

「リユース市」開催のために用意した受け付け用の電話番号か電子メールアドレスに連絡をいただいた方にフォーマットを送り、必要事項を記入していただいた。
計 27 件の回収申し込みがあった。

② 回収

運送業者をチャーターして引き取りに行った。

1-7 回収物品の保管

学生支援課に許可をいただき、駒場キャンパス内の 7 号館ピロティに 3 月 15 日~4 月 8 日まで保管した。数枚のビニールシートを用意し、物品を置く場所の地面に敷き、また物品を覆うためにも用いた。

1-8 物品提供の流れ

① 受付

「リユース市」開催時に、来場者にその場で申し込んでいただいた。
その場で持ち帰ることが可能な物品と、後日受け渡しの物品に分けて販売した。

後日受け渡しのもので複数人の購入希望者があった場合は抽選で当選者を確定した。

② 配送（4月7、8日）・受け渡し

配送希望者には運送業者をチャーターして配送した。

代金は商品と引き換えに受け取った。

1-9 余った物品

100点近くあった品物のうち、最終的に残った3点については、やむを得ず処理業者に有料で処理を依頼した。処理費用として11,550円かかった。

2. 「リユース市」会計報告

2-1 予算

物品の処理費や運送にかかる費用は予想が難しく、また運送の際の万が一の事故の場合にも備えて、多少売れ残ることを考慮に入れた上で、経費を回収できるように値段を設定し、3万円程度の予備費を含めて予算を立てていた。

凡そ予想通りの売り上げ収入を得た。

2-2 収入

販売収入合計 164,910円

2-3 支出

支出合計 160,267円

2-4 利益

これから先も環境三四郎が主催として行う場合に備えて、37,343円を「リユース市」積立金として保管した。

※会計の詳細についての別に添付した「リユース市 2008 収支報告」参照

3. 反省・検討課題

- ・4月7日、8日はサークルオリの日であり、構内に人が大勢いる中を運送業者や処理業者の車を7号館前まで入構させるのはかなりの迷惑であった。車両入構は人が大勢いる時間帯をできるだけ避けるべきであった。
- ・当日の販売において、特に早朝と夕方の一部で対応に混乱が生じお客様にご迷惑をおかけした。事前のシミュレーション、マニュアルの作成等をし、スムーズに行えるようにすべきであった。

- 7号館ピロティには屋根はあるものの、横からの風雨、砂埃の侵入がある。屋内の保管場所をどこかに確保できないだろうか。
- 回収がし易く環境負荷も小さい駒場周辺への広報に更に力を入れるべきだろうか。
- 一般的でない「リユース市」でなく、認知度の高い「リサイクル市」の名称を使用すべきだろうか。

以上

リユース市 2008 収支報告

収入

項目	金額	備考
去年度繰越	32,700	
売上（配送料込）	164,910	
収入合計	197,610	

支出

項目	金額	備考
運送代	18,900	3/15 回収分
	9,450	3/16 キャンセル
	18,900	3/22 回収分
	9,450	3/22 延長
	18,900	3/23 回収分
	21,000	4/2 配送分
	21,000	4/3 配送分
処理業者代	11,550	
携帯プリペイド代	18,000	
ゆうパック代	1,400	横浜への配送
ブルーシート	4,788	3.6×6.4m 6枚
印刷、コピーカード	4,700	
紙	1,315	
立て看板カバー	400	
軍手	241	
セロテープ	105	
激落ち君	168	
来年度繰越	37,343	
支出合計	197,610	